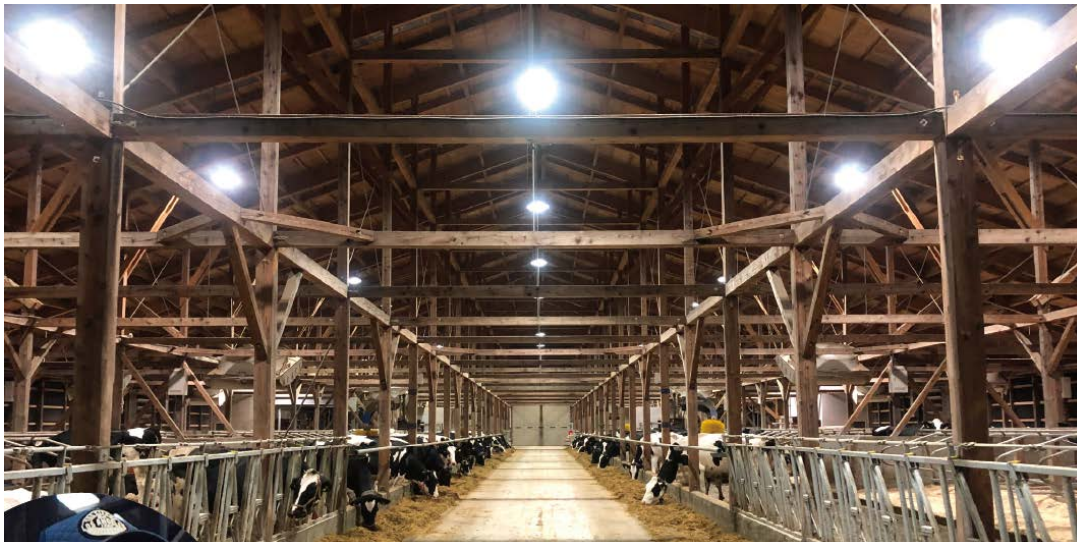


乳牛のストレスを無くし搾乳量が大幅UP インダクションエコライト iEL

事例の概要

牛舎の長日管理を省エネで実現 **最小限の電力消費量で明るさを150~200ルクスに保つ事で搾乳量UP**
ブルーライトとグレア（眩しさ）をLEDと比較して大幅カット 乳牛と人に優しい光が酪農の未来を強力にサポート

- 北海道広尾町の酪農場「ミックランデーリィ」様は新築牛舎を建てるにあたり照明を検討するべく渡米。古くから酪農技術の研究がなされてきたアメリカではすでに「牛舎＝インダクションライト」は広く普及している技術だった。明るくまぶしくない光を見て「この光は理にかなっている」代表の角倉氏はそう感じたという。
- 帰国し、早速国内で一番信頼性が高いと評価したインダクションエコライトiELを導入。一日の平均搾乳量は40kg/頭にのぼり、大変満足できる結果となった（※ただし搾乳ロボット同時導入）。また夜間もしっかりとストレスの無い明るさを保っており、スタッフも働きやすく環境整備面で大変有効な結果となった。



搾乳量増加に成功

「この光は理にかなっている。」

北海道広尾町 ミックランデーリィ様

1日平均搾乳量/1頭

角倉氏の
牛舎では
40kg



一般的な
乳量
33kg



乳牛に優しい照明で乳量アップ

OPTIZM